

「1人1台端末を活用し、春日部の教育を前に」

春日部市教育委員会

1 授業でのICT活用目標について

授業での学びの充実を図るために、1人1台端末や大型モニター等のICT機器を、発達段階に応じて次のとおり活用することを目標としています。

【ステップ1】「端末の取り扱い方の習得」

〈例〉

- ①基本的操作を学ぶ
- ②きまりを守って取り扱う 等

【ステップ2】「端末の基本的な機能の活用」

〈例〉

- ①写真や動画を撮影する
- ②インターネットを使って調べる 等



【ステップ3】「各教科等の学習における活用」

〈例〉

- ①（国語）録画機能を活用して、スピーチをよりよいものにする
- ②（社会）情報の収集・整理・読み取りを行い、発表する
- ③（算数・数学）変化の様子を可視化して、イメージや特徴をつかむ
- ④（理科）動画撮影した観察や実験を繰り返し視聴して、考察する
- ⑤（外国語）翻訳機能を活用して、正確な発音を確認する 等

【ステップ4】「学習過程における効果的な活用」

〈例〉

- ①課題の設定 : 実社会の問題状況に関わる課題、進路や教科横断的な課題等を設定
- ②情報の収集 : 文献検索、ネット検索、インタビュー、アンケート、実験、フィールドワーク等
- ③整理・分析 : 情報処理、統計分析等
- ④まとめ・表現 : 論文作成、プレゼンテーション、ポスターセッション、提言等で発信



2 こんな授業や学習ができるように

- 必要な場面ですぐに調べ学習を行うことができる
- 内容が充実した発表資料を作ることができる
- 一斉学習の場面で、瞬時に児童生徒の反応や考えを確認した授業を行うことができる
- 撮影や録画が簡単に、また、それらの管理も簡単にすることができる

3 授業等でのICT活用事例

各校がそれぞれ工夫をし、1人1台端末を効果的に活用して、学力向上に取り組んでいます。春日部市は学校と連携し、変化の激しい社会を生き抜く子どもたちを育てるための教育を推進しています。

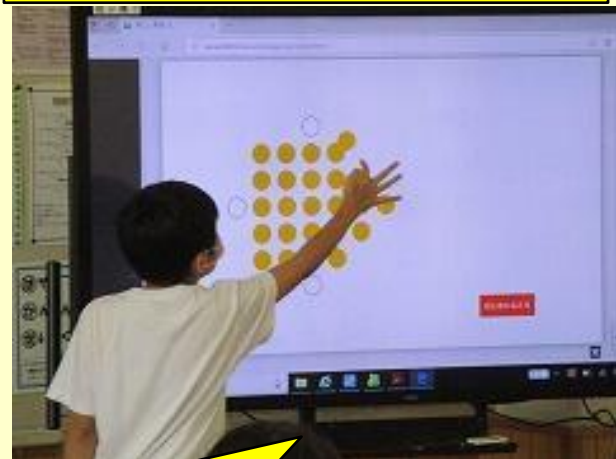
～小学校での活用～



「まずは使ってみることから」 基本的な操作の学習



ドリルソフトを使った学習で習熟を図る



操作を伴う学習場面での発表

～中学校での活用～



検索機能を使った修学旅行の事前学習



教師自作の教材を1人1台の画面で共有



思考過程が把握できるので丁寧な支援が可能